

ますます高まるインド株式市場の存在感 指数構成比率は新興国トップの中国に迫る勢い

シャイニング・インド（マクロ関連）中国の背中をとらえたインドの株式市場

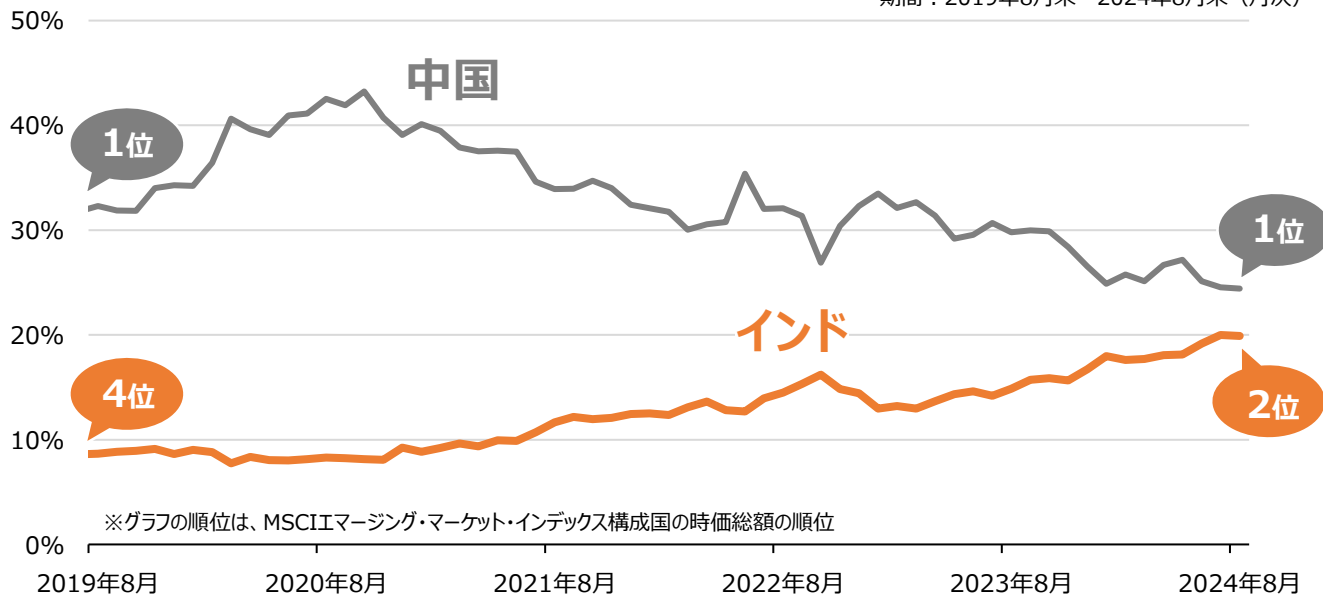
▶ 人口世界第1位のインド、株式市場で躍進

インドの人口は14億人を超え、中国を抜いて世界第1位の人口大国になり、高成長を続ける経済大国としてグローバルの中での存在感は極めて大きくなっています。

こうした中、新興国の代表的な株価指数であるMSCI Emerging Market Indexの国別構成比率を見ると、インドは過去最高を更新し続けており、構成比率トップの中国との差は急速に縮まってきています。

MSCI Emerging Market Indexに占める中国・インドの構成比率の推移

期間：2019年8月末～2024年8月末（月次）



▶ パッシブファンドのみならず、アクティブファンドへの資金流入増も期待！！

5年前の2019年8月末時点と、足もとの2024年8月末時点を比べると中国のウェイトが32.3%から24.4%へと低下したのとは対照的にインドは8.7%から19.9%へと2倍以上に増加しており、世界中の投資家にとって、もはやインドは無視できない市場となっています。こうしたインドの構成比率拡大により、当該指数に連動するパッシブ型ファンドのみならず、アクティブ型ファンドへのインドの組み入れ積極化などが想定され、インド株式への資金流入がいっそう期待されます。

出所：NRIのデータを基にパインブリッジ・インベストメンツ作成

上記は過去の実績・または現時点の見通しであり、将来の市場の変動を示唆・保証するものではありません。

ご留意事項

- 当資料は、情報の提供を目的として、パインブリッジ・インベストメンツが作成した参考資料です。金融商品取引法に基づく開示書類ではありませんし、特定の有価証券の売買、ファンド、商品を勧誘、推奨するものではありません。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性・完全性について当社が責任を負うものではありません。当資料中の記載事項、数値、図表等は、当資料作成日時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。なお、当資料中のいかなる記載事項も、将来の投資機会または運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。



パインブリッジ・インベストメンツ株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第307号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会